

## クエン酸熱水洗浄における効果と機器への影響

三思会 東邦病院 ME科

○星野晴香 宮村竜也 久保田紗織 若林悟 大澤佑介 宮本邦生  
坂田賢一 村上寿子 佐野浩之 松本理恵 小川浩司 松村昌樹  
腎臓透析センター  
吉田弘明 松本孝之 坂本龍彦 植木嘉衛

【目的】当院では透析液の清浄化を目指し、クエン酸熱水洗浄を取り入れ消毒効果と装置への影響を評価した。

【対象・方法】Citrix-50Hをクエン酸消毒剤として使用し、約80℃以上に加温し多人数用供給装置、粉末製剤溶解装置、透析用監視装置に90分間消毒した。供給装置の各末端にある4台の透析用監視装置より透析液を採取しET値、生菌数値を測定した。また、熱水消毒による装置への影響をみた。

【結果】各々の機器においてET値は検出感度以下であり、生菌数も未検出だった。RO装置では配管接続部から漏れが1回、透析液供給装置では配管接続部からの漏れが3回、透析用監視装置ではETRFの漏れが頻回し熱水対応に変更した。

【考察】クエン酸熱水洗浄は清浄化対策として有効な消毒方法である。クエン酸熱水洗浄によって装置部材が熱変形し、部品の破損や接続の緩みがみられたため、部材の更なる改良が望まれる。今後もクエン酸熱水洗浄の消毒効果と装置への影響を評価していきたい。